

## ①城南高校 1年 OK

僕はこの原爆朗読劇に参加して、たくさん思いができました。戦後80年であるヒロシマ・ナガサキの原子爆弾の投下。今まで暮らしていた環境がゼロに、いや放射線による大気汚染や土壤汚染で、マイナススタートとなつた。ナガサキはヒロシマほど人口が多くないが、爆発力(爆薬の多さ)はヒロシマよりも重く、長く、直径も大きい。このことを考えながら朗読劇を見ると、心痛ましく、自然と涙が出てきました。僕が特に印象に残っていることは、「最期の言葉」です。家族を思つて、恋人を想つて、前向きに生きようとする人…。一つ一つが僕の心に刺さりました。日本は唯一原爆が落とされ、世界で初めて放射線の被検体にされた国です。これ以上日本のような被害を増やさないためにも、話し合っていく必要を改めて再確認した会でした。語り合い、人脉を広げ、世界に影響を与えていかなければ、ロシアによるウクライナ侵攻や、イスラエルによるガザ攻撃など、世界各地で紛争や戦争が起こっています。まずは人権こども塾のような小さな会から、市⇒県⇒全国⇒世界へど、各自に名ステップが踏めるように、日々から人権についてふれ合うのと同時に、周りの大人や友達、クラスメイトなどにも広げていけるように、積極的に真面目に取り組んでいこうと思います！あとパンケーキ美味しかったです！ありがとうございました！

## ②徳島商業高校 2年 NM

私は今回初めて、原爆朗読劇を見ました。この朗読劇があることは、昨年から知っていました。高1の国語の時間に渡辺美佐子さんの「りんごのほっぺ」を学習したときに、当時の教科担任から教えてもらいました。そのときは都合がつかずに行けませんでしたが、今回行けて良かったです。3日前に広島に行きました。資料館で展示されていたものがスクリーンで流れてきて3日前の記憶がよみがえってきました。けれど初めて見たものもあつたし、長崎のことは詳しく学習したことがないので、どれもが初めてでした。今回参加してみて、1度、2度と学んでいるはずなのに新しく知ることがたくさんあると改めて思いました。吉成先生が“1度や2度訪れても学びきれない。だから何回でも訪れるのだ”と言っていて、すごくそうだな～と共感しました。自分も1回2回だけではまだまだ知らないことがたくさんあるので、もっともっと他の人たちにお話を聴いて学びたいと思いました。そして、他の人権問題ももっともっと学んでいきたいです。そして長崎にも行ってみたいと思いました。